

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス G R E E N			
○保護者評価実施期間		令和7年 2月 7日	～	令和7年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間		令和7年 2月 7日	～	令和7年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が充実している。	毎日、集団活動の時間を設け、1週間を通して「静」と「動」の動きをバランスよく取り組めるよう、工夫している。集団活動の中から、各児童の課題を洗い出し、その子その子に合わせた支援に取り組んでいる。	年齢や、取り組める物事を分析し、状況やレベルに合わせたチーム作りをし、更に今以上に様々な体験や経験ができるよう取り組んでいく。
2	「本人支援」「家族支援」に丁寧に取り組んでいる。	各児童の奥には、必ず要支援者がみていて、要支援者のレスパイトケアを日々怠らないような意識づけを、職員間で声を掛け合いかながら、すべての支援において丁寧に取り組んでいる。	日々の業務日報や、支援前MT、送迎後MTの時間を活用し、細やかな情報共有に努める。
3	様々な体験を積む事ができている。	地域の方々の協力を得て、「陶芸教室」「マジックショー」等、普段あまり経験できない活動を取り入れている。1日利用の学校休業日は、ディスカッションやワークシート等を用いてお買い物に出掛け、体験学習をしている。	「達成」に結び付く「目的」を明確にし様々な事に取り組めるよう、ワークシートや、振り返りシートの内容の充実をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会をもっと設ける。	8割から9割の保護者様が、様々な形態で就労をされているため、なかなか保護者様同士の交流の時間を設けることが難しい。	今年度より開催している、保護者参観日の機会をもっと積極的に設けていく。（今年度の開催時は保護者の皆さんよりも好評なご意見をいただいた。）
2	地域の他の子どもと活動する機会をもっと設ける。	肢体の障害がある児童の場合、安全面を考えると、地域の他の子どもも達と活動するにあたり、場合によってはあらかじめ理解を得ておく必要がある。その場合個人情報を取り扱うことになるので、なかなか難しく感じている。	対象児の保護者様にもご参加いただく等のご協力を得ながら、児童センター等を活用や、市開催のスポーツ交流会に積極的に参加していく。
3			